



平成23年2月25日

## 『救急用コミュニケーション支援ボード』の制作寄贈に対して

### 新井消防総監から感謝状を贈呈！

— 障害者にやさしい救急活動を提供するために —  
救急現場に新たな支援ツールが誕生！

東京消防庁では、会話が困難な傷病者や障害者向けの救急業務の取り組みとして、平成15年4月からFAXによる119番通報（資料3※1）を開始し、更に10月からは、事前に登録した利用者からのメールによる通報を受けるサービスも実施しています。

一方、救急自動車には、コミュニケーションマニュアル「会話カード」（資料3※2）を積載し、必要に応じて外国人や聴覚・言語障害者の対応を行っています。

今回、明治安田こころの健康財団から寄贈された「救急用コミュニケーション支援ボード」（資料1）は、従来の文字での対応に加え、新たに救急現場で多く見られる症状をイラストで表記することで話し言葉にバリアのある方に指差して主訴等を伝えてもらい、円滑な救急活動を図るものです。

今後は、寄贈された「救急用コミュニケーション支援ボード」をすべての救急隊やポンプ車等に配置するほか、消防署所への配置と併せて「支援ボードマニュアル」（資料2）も配置の計画をしており、「障害者にやさしい救急活動」の更なる強化を図っていきます。

このことから当庁では、明治安田こころの健康財団に対して、下記のとおり、消防総監感謝状を贈呈します。

なお、感謝状贈呈式では、障害者等への取り組み状況を説明するとともに「救急用コミュニケーション支援ボード」を活用した救急活動デモンストレーションを行います。

#### 記

- 1 日時  
平成23年3月1日（火）9時00分から9時30分頃まで
- 2 場所  
東京消防庁 本部庁舎 8階特別会議室  
千代田区大手町一丁目3番5号
- 3 贈呈者  
消防総監 新井 雄治（あらい ゆうじ）

#### 4 功勞者

財団法人 明治安田こころの健康財団 殿  
(代表＝ 理事長 山本 和雄 (やまもと かずお) 様)

#### 5 贈呈式次第

	時 間	内 容
1	9時00分	開式
2	9時01分	出席者紹介
3	9時03分	財団法人 明治安田こころの健康財団から「救急用コミュニケーション支援ボード」を当庁へ寄贈
4	9時06分	新井消防総監から消防総監感謝状を贈呈
5	9時09分	新井消防総監から謝意
6	9時12分	記念撮影
7	9時17分	支援ボードを活用した救急活動デモンストレーションの展示
8	9時23分	支援ボードの説明 (目的・奏功事例等)、質疑
9	9時30分頃	閉式

#### 6 取材についてのお願い

- (1) 取材を希望される社は、2月28日(月)16時までに広報課報道係までご連絡ください。
- (2) 事前レクチャーを行いますので当日8時45分に8階特別会議室にお集まりください。
- (3) 寄贈物品の説明と質疑は、会場で行います。
- (4) 取材時は、自社腕章を着用し、会場では、消防職員の指示に従ってください。
- (5) 駐車場は、ご用意できませんので予めご了承ください。

問合せ先

〔 東京消防庁 (代)  
電 話 3 2 1 2 - 2 1 1 1  
広報課報道係 内線 2345 ~ 2350 〕


# 寄贈品 「救急用コミュニケーション支援ボード」 図柄等


## 【救急隊用支援ボード】

コミュニケーション支援ボード / Communication support board / 交流支援板 / 커뮤니케이션 지원 보드


**どうしましたか?**  
MAY I HELP YOU?  
무슨 일이세요? 怎么了?

主催: 明治安田こころの健康財団  
監修: 東京消防庁







熱がある  
I have fever.  
열이 있다 / 发烧



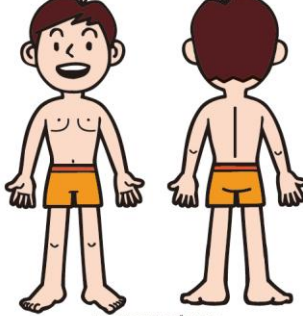
いたい  
I feel pain.  
아프다 / 疼痛




くるしい  
I feel pangs.  
몸이 괴롭다 / 难受




はいた  
I vomited.  
트뱌다 / 呕吐了




からだのどこですか?  
Which part of your body?  
몸 어디가 아픈가요? / 身体的哪个部位?




めまいがする  
I feel dizzy.  
어지럽다 / 头晕



血がた  
I bled.  
피가 나왔다 / 出血了



しびれる  
I feel numb.  
저리다 / 发麻



かゆい  
I feel itchy.  
가렵다 / 痒



体にふれます  
I am going to touch you.  
숨 보겠습니다 / 触摸身体



動かないでください  
Please keep still.  
움직이지 마십시오 / 请不要动



すこし待ってください  
Please wait for a moment.  
잠시 기다려 주십시오 / 请稍等一下



いたい I feel pain.  
아프다 / 疼痛

くるしい I feel pangs.  
몸이 괴롭다 / 难受

すこし A little (pain / pang)  
조금 / 有一点(疼痛, 难受)

すごく Much (pain / pang)  
다소 / 多(疼痛, 难受)



いつから?  
When did the situation begin?  
언제부터? / 从什么时候开始的?

■30分前から  
Since 30 minutes ago.  
30분 전부터 / 从半小时之前开始

■1時間前から  
Since 1 hour ago.  
1시간 전부터 / 从一小时之前开始

■それより前  
Since earlier  
그 전부터 / 从那之前开始



かかりつけの病院は?  
Do you have regular hospital?  
다니는 병원만 / 有没有固定的就诊医院?

持病は? / Do you have chronic illness? / 자병이 있으십니까? / 有没有老毛病?

●高血圧 High blood pressure 고혈압 / 高血压	●糖尿病 Diabetes 당뇨병 / 糖尿病	●心臓病 Heart trouble 심장병 / 心脏病	●生理中 In menstruation 월리 중 / 月经中
●肝炎 Hepatitis 간염 / 肝炎	●脳卒中 Stroke 뇌졸중 / 脑中风	●がん Cancer 암 / 癌症	●妊娠中 Pregnant 임신 중 / 怀孕中
●精神疾患 Mental disorder 정신질환 / 精神疾病	●てんかん Epilepsy 간질 / 癫痫	●エイズ AIDS 에이즈 / 艾滋病	●その他 Others 그외 / 其他

あなたの... / What is your... / 당신의 / 你的

名前 / 이름 / 名字

生年月日  
The date of your birth (Age)  
생년월일(나이) / 出生年月日 (年龄)

電話  
Telephone number  
전화 / 电话

住所  
Address / 주소 / 地址

書いてください Please write it down. / 써주세요 / 请写



はい  
Yes  
네 / 是



いいえ  
No  
아니오 / 不是



病院へいきます  
You are carried to hospital.  
병원으로 가겠습니다 / 去医院

# 【消防隊用支援ボード】

コミュニケーション支援ボード / Communication support board / 交流支援板 / 커뮤니케이션 지원 보드

## どうしましたか? MAY I HELP YOU?

무슨 일이세요? 怎么了?

救急車がくるまで手当をします。  
I treat you till the ambulance comes.  
구급차가 올 때까지 응급처치 하겠습니다. / 在救护车到来之前采取急救措施

主催: 明治安田こころの健康財団  
監修: 東京消防庁





熱がある  
I have fever.  
열이 있다 / 发烧



いたい  
I feel pain.  
아프다 / 疼痛



くるしい  
I feel pangs.  
몸이 괴롭다 / 难受



はいた  
I vomited.  
토했다 / 呕吐了



からだのどこですか?  
Which part of your body?  
몸 어디가 아픈가요? / 身体的哪个部位?



めまいがする  
I feel dizzy.  
어지럽다 / 头晕



血がでた  
I bled.  
피가 나왔다 / 出血了



しびれる  
I feel numb.  
저리다 / 发麻




かゆい  
I feel itchy.  
가렵다 / 痒


## あなたの... What is your... / 당신의 / 你的




名前  
Name / 이름 / 名字




生年月日(年齢) The date of your birth (Age)  
생년월일(나이) / 出生年月日(年龄)




電話  
Telephone number / 전화 / 电话




住所  
Address / 주소 / 地址




かかりつけの病院は?  
Do you have regular hospital?  
다니는 병원은? / 有没有固定的就诊医院?



書いてください Please write it down. / 써 주세요 / 请写



はい  
Yes  
네 / 是



いいえ  
No  
아니오 / 不是



わかりません  
I don't understand.  
모른다 / 不明白



## 救急用コミュニケーション支援ボード 「どうしましたか？」マニュアル

主催：財団法人 明治安田こころの健康財団 監修：東京消防庁  
イラスト：櫻田 耕司  
企画制作：「救急用コミュニケーション支援ボード」制作ワーキンググループ

### 1 「コミュニケーション支援ボード」のねらい

#### (1) ねらい

「コミュニケーション支援ボード」は、話し言葉によるコミュニケーションのバリアフリーを推進するツールとして開発されました。視覚障害や肢体不自由のある人に対する点字ブロックや段差の解消などのバリアフリーの手立てに比べ、知的障害や自閉症の人の障害は分りにくく、バリアフリーの視点からの社会的な取り組みがなかなか進んでいないのが現状でした。2003年に明治安田こころの健康財団と当時の知的障害養護学校長会とが協力して始めた全国規模での普及活動は、その後、駅や店舗、交番などへと広がり地域の中での安全で安心した生活の支えの一つになっています。今回は、救急場面での対応に特化した「救急用コミュニケーション支援ボード」を制作しました。また、この支援ボードの普及をきっかけにして、知的障害や自閉症の人たちへの理解も深めてもらう「心のバリアフリー」も目指しています。

#### (2) 使って欲しい人たち

知的障害、自閉症、聴覚障害、肢体不自由の人たちや、高齢者、病気・怪我などで言葉が話すことや理解に困難のある人のほか、外国の人などにも利用できます。

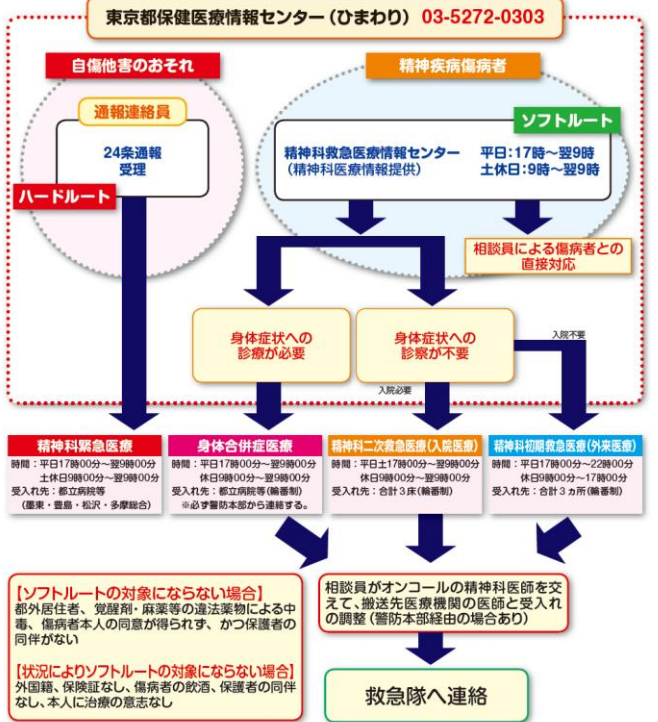
### 2 「救急用コミュニケーション支援ボード」の使い方

- 1) ゆっくり、丁寧に話しかけても、言葉の意味が通じない、相手が何を言っているのかわからないときは、「救急用コミュニケーション支援ボード」を使ってみます。
- 2) 「どうしましたか？」とやさしく声をかけながら、「支援ボード」を示し、「コミュニケーションをしよう」「救急対応をしよう」としていることを伝えます。
- 3) まず、「支援ボード」の表面から「どうしましたか？」に対応したイラストを指さしてもらいます。
- 4) 必要に応じて、裏面も利用していきます。

- 「支援ボード」を使うときは、曖昧な表現や言葉を多く使わないようにして、ゆっくり見せて指さできるように待ちます。
- 指さすることが困難な人には、こちらが指さして聞いてみて、その反応を確認します。
- 文字が理解できたり書けるときは、メモ欄を使ってやりとりを試みましょう。
- 知的障害や自閉症の人たちの中には、救急場面の状況だけで混乱し落ち着かなくなることがありますので、ゆっくり、やさしく話しかけてください。



## 東京都精神科夜間休日救急医療を活用した病院選定要領



### 【関係法令】

精神保健福祉法第24条

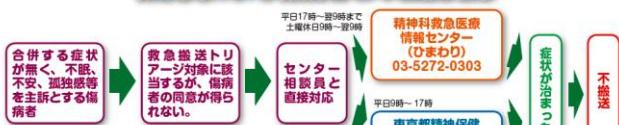
警察官は精神障害のため自傷他害の恐れのある者を発見したときは直ちに最寄りの保健所長を経て都道府県知事に通報しなければならない。

## 精神保健福祉法に基づく入院種別概要

対応要領 入院種別	キーワード	入院手続き上の条件	備考
任意入院 (法22条の3)	本人の意思	入院条件等について書面で事前に提示し当該精神障害者自身が入院する旨を書面に申請	
措置入院 (法29条)	医療保護 本人同意なし 自傷他害おそれあり 指定医2人以上の診察	法27条第1項により指定医の診察の結果、法29条に該当すると認められたときは指定医2人以上をして入院(法24条・警察官通報も同様の流れ)	法27条第2項：法23条から法26条の3までの申請、連絡及び届出がない場合は、入院させなければ自傷他害のおそれ明らかでない場合は、申請等なくても指定医に診察させることができる。なお、この場合、都の指定者を立ち合わせる義務がある。
緊急措置入院 (法29条の2)	医療保護 本人同意なし 自傷他害おそれあり 指定医1人の診察 緊急を要す	急速を要し、法27条、28条、29条の手続きを採ることができない場合、指定医1人をして入院	主に休日及び夜間帯などにおける緊急時の対応を想定した規定：よって入院期間72時間
医療保護入院 (法33条)	医療保護 本人同意なし 保護者の同意あり 指定医1人の診察 特定医師	指定医の診察の結果、精神障害であり、かつ、医療及び保護のための入院の必要があることで、保護者の同意があるときは、本人の同意がなくても入院させることができる。緊急時は、指定医の代えて「指定医師」に診察を行わせることができる。	※法21条：保護者がいない場合の市町村長(指定医師を含む)同意(居住者がいる場合は市町村長、居住地がない又は市町村長が不在の場合は居住地を管轄する市町村長が同意となる) ※特定医師の場合は12時間
応急入院 (法33条の4)	医療保護 本人同意なし 保護者の同意なし 指定医1人の診察 緊急を要す 特定医師	急速を要し、保護者の同意を得ることができない場合でも、指定医の診察の結果、精神障害であり、かつ、医療及び保護のための入院が必要となる場合は、本人の同意がなくても入院させることができる。緊急時は、指定医の代えて「特定医師」に診察を行わせることができる。	※主に休日及び夜間帯などにおける緊急時の対応を想定した規定：よって入院期間72時間 ※特定医師の場合は12時間

\*指定医に代えて役割を担う医師を「特定医師」という。なお、この「特定医師」は、「特定病院」でしかその業務を行うことが認められていない。都内の「特定病院」は、聖路夫病院と東京立派病院、国立精神・神経医療研究センター病院、平川病院である。  
\*特定医師の役割は、任意入院時の滞院の延長(12時間限)、緊急入院・医療保護入院の場合の指定医に代えての診察(12時間)を限り入院させることができる。

## 相談員による傷病者との直接対応



名称	電話番号	担当地 <sup>(※)</sup>
東京都立中部総合精神保健福祉センター	03-3302-7711	区部西南部
東京都立精神保健福祉センター	03-3842-0946	区部東北部
東京都立多摩総合精神保健福祉センター		多摩地域

※区部西南部：港区、品川区、大田区、世田谷区、目黒区、杉並区、渋谷区、新宿区、中野区、練馬区  
区部東北部：千代田区、中央区、板橋区、豊島区、北区、文京区、足立区、荒川区、台東区、墨田区、江東区、葛飾区、江戸川区  
多摩地域：多摩地区全域

### 3 言葉によるコミュニケーションに障害のある人に配慮してほしいこと

話さなくても、何も通じないわけではありません。言葉による意思表示や理解の苦手な人でも、絵を指さしたり簡単な文字の読み書きでコミュニケーションをとることができる人たちもいます。「コミュニケーション支援ボード」を使って、確かなめながら対応してください。

#### ■知的障害・自閉症のある人

- 同年齢の人たちと同じように、言葉を理解したり使ったりすることが苦手で、まったく言葉を話せない人もいます。
- 言葉が話さなくても、絵や写真を理解したり、文字を読んだり書いたりすることが苦手で、
- 「痛いですか?」の質問に「痛いですか?」とそのまますらう返になってしまう人もいます。
- たて続けに質問されると、混乱したり困ってしまう人もいます。
- 自閉症の人は、話しかけてもなかなか視線が合わなかったり、横や下を向いて対面しがちです。
- 自閉症の人の中には、音や痛みに対してあるいは身体に触られることなどに対して過度に感覚過敏であったり、逆に過度に鈍感であったりすることがあります。
- 予測していない行動に移ることが大変苦手で、事前に次の行動を伝えてから実際の行動に移ると混乱が少なくなります。
- 不安なことやわからないことがあると、混乱して固まってしまうたり、パニックを起こすこともあります。周囲の人をこまめにさよならしてはもらえません。
- 「支援ボード」を使うことができない子どもの場合、ご家族が荷物や靴の中に名前や連絡先などを書いておくことがありますので、念のため確認してください。



#### ■聴覚・言語障害のある人

- 補聴器をつけている人もいますが、明瞭に聞こえているとは限りません。
- 聴覚障害のある人の中には話せる人もいますが、相手の話が十分聞こえていない場合もあります。
- 話し手の口の形を読み取るなど、視覚からの情報で話の内容を補っている人もいます。
- 絵や文字などの視覚的な情報は、やりとりを補うのに大変有効です。

#### ■肢体不自由のある人

- 脳性マヒのある人の中には、話すことに障害があるとともに、自分の意志とは関係なく顔や手足が動いてしまうために意志を伝えにくい人もいます。
- 首筋や頸椎を損傷された人の中には、周囲の温度に応じた体温調節が困難な人もいます。

## 【支援ボードマニュアル】

### ※1 【119番FAX通報用紙】

この用紙を使って済副にファックスで119番通報ができます。  
裏表両面に、住所・氏名・連絡先をあらかじめ記入しておきましょう。  
送信番号 (Emergency Fax No.) 119

**119番ファックス通報 用紙**  
Emergency Report Fax Card

どうしましたか? ○をつけてください。

**火事・救急・その他**

Service you want: Fire / Ambulance / Other

(Address)

区 市 町 村 町 丁目 番号

建物名称 (Bld. Name & Room No.) 号室

氏名 (Your Name)

電話番号 (TEL)  
ファックス番号 (FAX)

※わかる範囲で、詳しい内容を書いてください。  
(Please describe the condition and what you need.)

メール連絡もあります。 東京消防庁 検索

### ※2 【コミュニケーションマニュアル】

